

からだ から 《救命入門コース号》

平成 27 年 10 月

10 月 15 日（木）は、消防署の方が文教大学附属小学校へ来てくださり、5・6 年生を対象に救命講習を実施していただきます。みなさんが受けるのは「救命入門コース」といって 90 分間の講習会になります。

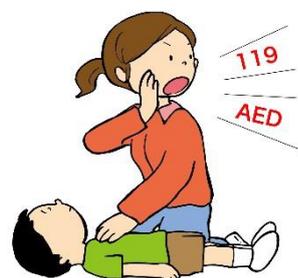


2 学期の身体測定の際に、「もし、目の前で人が倒れていたら、どんなことができるか？」という話をしました。今回は、実際に「AED を用いた心肺蘇生法」のやり方を教えていただく予定です。90 分という短い時間ですので、消防署の方の指示に従って、てきぱきと行動できるようにしてください。

《講習を受けるときのポイント》

★恥ずかしながら、大きな声を出す。

→練習で大きな声が出ないと、いざというときに大きな声が出せません。恥ずかかしている場合ではありません。講堂中に響き渡るくらい大きな声を出していきましょう！



★間違えてもいいので、自信をもって行動する。

→最初から完璧にできる人はいません。間違えていたら、すぐに消防署の方が教えてくれますので、それを覚えればいいのです。堂々とおこないましょう！

★真剣に取り組む。

→人の命にかかわる大変な事態の場合もあります。遊びで実施するものではありません。消防署の方もみなさんが救助者の一人であることを考えながら、真剣に教えてくださっています。みなさんもそれに答えるように、真剣に取り組んでください。



《考えながら講習を受けよう》

ただただ 90 分間の講習を受けるのではなく、しっかり考えながら講習を受けることができるといいですね。自分の大切な家族が大変な状況の時はもちろんですが、帰り道に誰かが倒れていた時、自分はなにができるのか？ 真剣に考えていきたいですね。

講習を終えた後、全員にまとめのプリントを書いてもらう予定ですが、その中に「今日の講習を受けて、今後の自分の生活に生かせることはどんなことですか」という課題があります。90 分間教えていただいたことをしっかりまとめられるようにしておいてください。

一人ひとりが意識をもって、講習にのぞめるようにしてください。

《先生方の講習会の様子です》

